

生物規範工学

公開シンポジウム BIOMIMETICS 市民セミナー

日時：2013年3月2日（土）

会場：北海道大学 学術交流会館 第一会議室

プログラム

科学研究費新学術領域「生物規範工学」公開講演会

10時00分～12時30分

10:00～10:30

大園 拓哉（独立行政法人産業技術総合研究所 ナノシステム研究部門 グループ長）

「マイクロリンクルの光拡散機能」

10:30～11:00

不動寺 浩（物質・材料研究機構 先端フォトニクス材料ユニット 主幹研究員）

「オパール薄膜のホットエンボス成形加工」

11:00～11:30

和田 健彦（東北大学 多元物質科学研究所 教授）

「可逆接合技術ならびに自己複製・増殖機能確立を指向した
外部刺激応答性新規人工核酸系構築に向けた戦略」

11:30～12:00

高梨 琢磨（独立行政法人森林総合研究所 森林昆虫研究領域 主任研究員）

「害虫における音・振動情報の機能解明と防除への応用」

12:00～12:30

劉 浩（千葉大学 工学研究科 教授）

「ハチドリは、なぜ美しくホバリングできるのか？
その運動、メカニクスおよびバイオミメティクス」

バイオミメティクス・市民セミナー

～バイオミメティクスの社会受容と サイエンス・コミュニケーション～

13時30分～16時40分

13:30～14:00

阿多 誠文（産業技術総合研究所 ナノシステム研究部門 ナノテクノロジー戦略室長）

「バイオミメティクスのテクノロジーガバナンスと社会受容、我々のアプローチ」

14:00～14:30

溝口 理一郎（北陸先端科学技術大学院大学 サービスサイエンス研究センター 教授）

「生物と工学の知識をつなぐオントロジー工学」

14:40～15:20

古田 ゆかり（北海道大学 高等教育推進機構 科学技術コミュニケーション教育研究部門 (CoSTEP) 特任准教授）

「社会受容の際に求められる科学リテラシー」

15:20～16:00

亀井 信一（株式会社三菱総合研究所 人間・生活研究本部 本部長）

「バイオミメティクスは日本のモノづくり復権の鍵になるか？」

16:00～16:40

齊藤 彰（大阪大学工学研究科 精密科学専攻 准教授）

「"生物と光の不思議"で考える科学と社会 ～工学・手塚漫画・寺田物理学～」

【公開講演会】主 催：科学研究費「生物規範工学」

【市民セミナー】主 催：北海道大学総合博物館

共 催：高分子学会北海道支部

協 賛：高分子学会バイオミメティクス研究会

北海道大学総合博物館

060-0810 札幌市北区北10条西8丁目

問合せ先：TEL. 011-706-2658 FAX. 011-706-4029

E-mail: museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp